

令和4年度菊桜観察記録①高岡神社

高橋達雄

高岡神社の‘菊桜’育成記録

1. 令和4年4月菊桜育成保存会事業計画として‘菊桜’の観察を始めることになりました。

この観察にあたり、‘菊桜’観察ノートが作成されこの観察ノートにより岡山県各地の‘菊桜’を観察する事と成り、里庄町内の‘菊桜’は佐藤家生家と里庄町立歴史民俗資料館前そして高岡神社と貞利家の4カ所に有り、私達は高岡神社の‘菊桜’の担当となり、メンバー4名（名前を入れる）により観察を始める事となりました。

2. この高岡神社の‘菊桜’は佐藤清明が平成1年にお手植された‘菊桜’です。

場所は現在の場所より東側に有り、植えられた当時周辺は雑木等が無く良い環境であったと思われるが、年が過ぎ周辺は雑木などが生い茂り日当たりの悪い所と為りました。



移植前の菊桜植地

3. 平成31年4月‘菊桜’周辺の雑木林のような状態を憂い神社総代、役員の方々により周

辺の雑木などを取り除き整地されました。令和2年2月9日日本殿東側に移植することになり、樹木師國忠氏の指導を受け神社役員及び関係者により移植作業が行われました。この作時に樹根のガンも同時に國忠氏により手当が行われました。



拝殿東側に移植作業



ガン治療作業

4. 4月7日に観察のために写真を撮りに行き同時

に、観察花と指定した枝に観察の目印として観察中を記入したテープを取り付けました。花の状態は蕾が少し膨らみ萼5枚と副萼が5枚で包まれていました。移植後2年

少々が過ぎましたが、樹木全体の育ちがまだ悪いようです。天候は晴れ 22.9°C（温度はこれ以降岡山気象観測所笠岡測候所のデータを使用）

5. 3日後の10日も観察花は萼に包まれた状態で変わらなかった。

6. 13日には花弁が開き始めました。

7. この時期頃より花が咲いたとはいつ頃か疑問が出てきました。

蕾が膨らんできた時か、蕾より花弁が出始めた時か、花弁が出そろい丸咲きになる時か、判らないままにいろいろ調べながらも観測を続けることになってしまいました。



13日咲き始め

8. 4月15日曇り 18.1°C観察の花は濃い紅色をしている、花弁の数は多くなっていますが、花弁に張りがなく元気が少し無いように見えます。

9. 17日晴れ 22.0°C観察花5部咲き、観測花が咲く枝の先端付近には丸咲きの花が見られます。

10. 19日晴れ 21.1°C満開までにはまだ至っていない。観測花の直径は3.5cm有り

11. 21日雨 19.1°C樹木全体満開に近く為りました。

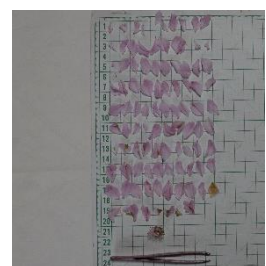
12. 24日曇り雨有り 26°C花の花弁だけが1個落下していた。

この花は花心より抜け落ちて花弁のみになっているようで、このような状態で花弁の塊が落下するとは異常では無いのか、虫か、気候か、木本体の勢か不明。



落下の花弁

13. 落下の花弁の直径は4.5cm1段咲きの部分と思われるが花弁の数を数えると98枚有りました。



落下の花弁の数 98

14. 26日雨 23.0°C観測花が満開に近くなりました。

15. その他の枝に有る花が6個落下しその内の2個がしおれ茶色に変色し腐れかけている状態になっています。



26日満開となる

16. 28日晴曇り 25.0°C落下の花30個あり、26日と同じ状態でしおれ茶色に変色し腐れかけの花が混ざっている状態です。

17. 5月3日晴れ 21.7°C4月28日以降花自体は枝に付いたままの状態でしおれ茶色に変色のままで花の落下は見られず、落下した花を拾い花卉の数を数える予定が外れてしまいました。

18. 6日曇/晴 24.7°C状態変わらず予想外の出来事です。6日から10日まで同じ状態が続きました。

19. 14日曇/晴 24.7°C落下したのか全ての花が無くなっていました。しかし下の地面にも花の跡形なし、落下については前日まで雨が続いたためその影響が有ったのか。花が無いのは雨で流れたのか、又は神社関係者が清掃されたのか不明です。

20. 4月中頃に疑問に思った花の開花は何時なのか、この疑問については生宗代表が森林総合研究所の勝木先生にお尋ねに為ったところ、勝木先生はある程度花卉の伸長成長が終わった時点とされています。5弁の桜の開花と同じ考え方と思われた。ただ開花に付いては色々



開花

な意見もあると思います。観察者が判断し易いような統一された基準が必要であり、今回の観察中に於ける色々な経験をこの後も機会があれば生かしたいと思います。